

《今日の名言》

伝統とは形を継承することを言わず、その魂を、その精神を継承することと言う

嘉納 治五郎

まちのできごと

恒久の平和を願い

藤里町戦没者追悼式

8月20日、総合開発センターにおいて戦没者追悼式が挙行され、遺族の方々や関係者ら約30名が参列しました。

戦争終結から78年目を迎えた今年、戦没者209名の英霊に黙とうを捧げた後「祖国の安泰と繁栄を願い、最愛のご家族を案じながら、心ならずも遠い異郷の地で帰らぬ人となりました。戦没者の方々が、示された戦争の悲惨さと、平和の尊さを深く心に刻み、再び悲惨な戦争を繰り返すことがないよう次世代に語り継ぐとともに、藤里町のなご一層の発展のために、努力を重ねて参りますことを誓います。」と佐々木町長より式辞が述べられました。

続いて、佐竹秋田県知事（吉田山本福祉事務所長代読）や、遺族会を代表して石田敬一郎さんより追悼の言葉が述べられ、その後、遺族や来賓、町関係者が祭壇に献花をして戦没者の冥福を祈るとともに世界の恒久平和を誓いました。



恒久平和を願い献花

交通死亡事故ゼロ日数

1,500日を達成

8月23日に当町の交通死亡事故ゼロ日数が1,500日に達したことを受け、9月12日、藤里町役場において、秋田県交通死亡事故抑止継続表彰伝達式が行われました。

式では、田森山本地域振興局長が県知事からの表彰状を、菊池能代警察署長が秋田県警本部長からの顕彰を佐々木町長に伝達しました。



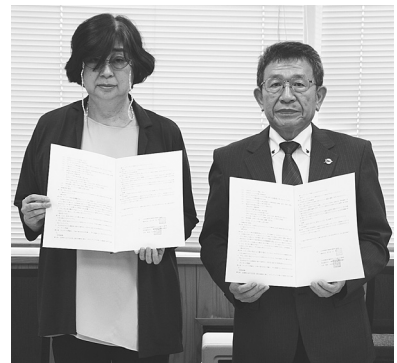
県警本部長からの顕彰

「災害ボラセン」協定を締結

9月12日、藤里町役場において、町と藤里町社会福祉協議会による「災害ボランティアセンター」の設置・運営等に関する協定」締結式が行われました。

この協定は、災害発生時にボランティアによる支援活動が大きな役割を果たすことから、町と社協の役割などについて定められており、円滑に災害ボランティアセンターを設置・運営し、被災者の生活支援に寄与することを目的として締結

されました。



協定を締結しました



藤里町に新しいALT（外国語指導助手）として、ゾーン・イー・ゼーンさん（26歳、イングリッシュネームはアスター）が来町されました。

アスターさんは、カナダのオンタリオ州ミシサガ市出身で、ウエスタン・オンタリオ大学では音楽を専攻し、大学を卒業してからは、音楽学校などで教師として従事していました。日本語はまだ少し不慣れですが、お見かけしましたら、気軽に声かけをお願いします。

◎アスターさんよりごあいさつ

藤里町に来ることができて、とてもうれしいです。演奏できる楽器は、トランペット、ピアノ、ギターで、好きなスポーツはバドミントンです。気軽に『アスター』と呼んでください。よろしくお願いします。

《名言の意味》

講道館柔道の創始者である柔道家、嘉納治五郎の名言です。伝統を受け継ぐということは、ただ同じ姿形を引き継ぎ続けていくということではなく、その伝統の根底にあり続ける本質的な想いを後生に繋いでいくことであるようです。

みんなのわだい